都市交第77回定期大会

～強固な団結で激動の波を乗り越え、新たな都市交運動の創造を～

都市交第 77 回定期大会

都市交第七十七回定期大会は、大阪難波の「スイスホテル南海大阪」において、本部役員、来賓、代議員、傍聴者四五〇名余りが参加する中、大会設営地本の中村関西地本委員長（大阪）の挨拶で開会しました。冒頭、東日本大震災で被災されたすべての犠牲者とこの一年間に亡くなられた組合員の冥福を祈り黙祷がささげられた後、阿部中央執行委員長から①東日本大震災への取り組みと公務・公共サービスの重要性、今後のエネルギー政策②労働基本権確立・公務員制度改革と国家公務員の給与削減問題③重要法案が目白押しの国会情勢④公営交通を取り巻く情勢と直面する課題⑤公務・公共サービスの大同団結などに触れた挨拶が行われました。続いて、資格審査委員長から大会成立の報告があり、議長選出後、各方面の来賓の皆様方から都市交運動に対する激励の挨拶を受け、二〇三通の祝電・メッセージが紹介された後、一般活動報告並びに議案事項の審議に入りました。はじめに議案書記長から、一般活動報告並びに議案第一号「二〇一〇年度の主な取り組みの総括」が提案され一日目を終了しました。二日目は、前日に報告・提案された二〇一〇年度の活動報告並びに議案第一号「二〇一〇年度の主な取り組みの総括」が提案され、鈴木代議員（仙台）から「今回の大震災ですべてのライフラインを絶たれ、精神的にも肉体的にも大変辛い環境の中にありましたが、こういう時だからこそ『公営交通魂！』と皆で励まし合い、公営交通の職員として誇りを持って職務遂行にあたりました。そして、公営交通は非常時にあってこそ『市民の足』として、しっかりとその役割を果たすことが事業存続に繋がると痛感しました。また、各都市交の仲間の皆さんからの励ましと激励、迅速な行動に組織としての絆を強く感じています。『都市交魂』を胸に、復旧・復興に向け頑張って参ります。」と発言がありました。その後、議案第一号と二〇一〇年度会計報告が満場一致で確認され、議案第二号「二〇一一～二〇一二年度運動方針」が提案されました。議案第二号では八人の代議員から発言があり、活発な質疑と答弁が展開されました。その後の議案は本部提案どおり確認され、本定期大会で任期満了を迎える役員選挙では、高木新中央執行委員長を筆頭とする新体制が確立されました。続いて議長が大会スローガン、大会運営委員長が大会宣言を読み上げ全体の拍手で確認しました。最後に、高木新中央執行委員長発声のもと「団結ガンバロウ」を三唱し、都市交第七十七回定期大会を締め括りました。

※なお、大会概要及び発言内容、本部答弁の詳細については都市交発行の機関紙をご参照ください。

来賓挨拶
古賀連合会長

高木
新中央執行委員長

阿部
前中央執行委員長

選挙管理委員長を
務めた中谷代議員

引き続き会計監査を
務める佐田監査委員

全国から参集した仲間

新体制の下団結ガンバロウ

都市交第三九回 機関紙コンクール 単組新聞「京交」入選

機関紙コンクール
表彰を受ける
伴野代議員

大　会　宣　言

われわれ都市交は、ここ大阪において第 77 回定期大会を関催し、過去1年間の運動の総括を踏まえ、公営交通の維持・存続を最優先に取り組む向こう2年間の運動方針を決定した。

日本は今、東日本大震災、福島原子力発電所の事故の下で、社会・経済・国民生活の停滞を余儀なくされている。未曾有の危機からの脱却をめざし、一刻も早い事故の収束と復旧・復興に向けた着実な前進が求められている。われわれ労働組合も自らの使命を果たすべく、復旧・復興に向けた息の長い支援を展開していかなければならない。

この停滞した社会から再生に向け、政治の役割発揮が今ほど求められているときはない。政府・与党は何よりも今一度原点に立ち返り政権交代の意義を再確認し、国民生活優先の政治を前進させていくことが絶対に必要である。われわれ労働組合も勤労国民の代表として、日本の再生に向け社会的責任を果たすべくその一翼を担っていかなければならない。

とりわけ、早期復旧・復興を成し遂げるためには公務・公共サービスに携わるわれわれの役割は重要であり、サービスの質を高め拡充していくためにも他の公務員労働者との絆を強め、大同団結を図っていくことが強く求められている。

公務員労働者にとって積年の課題であった労働基本権の確立に向けた一歩が踏み出されようとしている。自律的な労使間係制度のもと、労使関係のあり方を今一度点検し、緊張感のある良好な労使関係を築いていくことが求められている。

公共交通は今、行き過ぎた規制緩和によって奪われた地域の足と安全を取り戻す必要に迫られている。そのために交通基本法の早期成立に向けて引き続き邁進する必要がある。さらにこれを足掛かりとし、移動権の確立を視野に入れ、公共サービス基本法の精神との相乗効果を醸成させる運動の中で、公営交通をとりまく苛烈な環境を改善していく必要がある。

同時に、行政サービスとしての公営交通に携わるものとして、「地域の生活交通を守る砦」となることを自らの使命とし、公営交通の維持・存続の取り組みにこれまで以上の覚悟をもって臨まなければならない。一人ひとりが意識改革を断行し、住民・利用者に信頼され必要とされる存在となり、地域の生活交通の核として公営交通を確立することが、この難局を克服する唯一の道である。

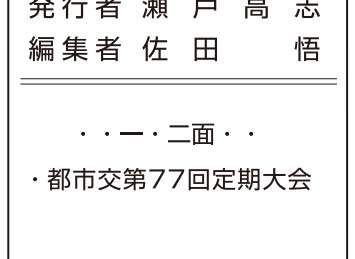
今こそ組合員、単組・地本・本部の強固な団結で激動の波を乗り越え、新たな都市交運動の創造をめざして全力を尽くすことをここに宣言する。

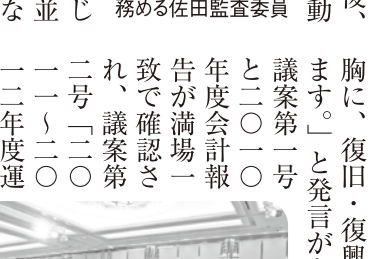
2011 年 7 月 7 日

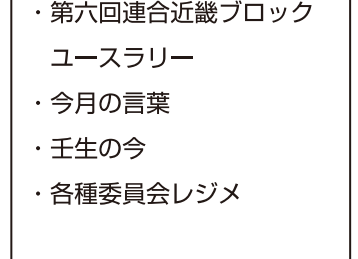
日本都市交通労働組合
第 77 回 定 期 大 会

会場受付の様子

傍聴参加の支部役員


・・・京交代議員・・・


傍聴参加の支部役員


～取材にあたった教宣部員～

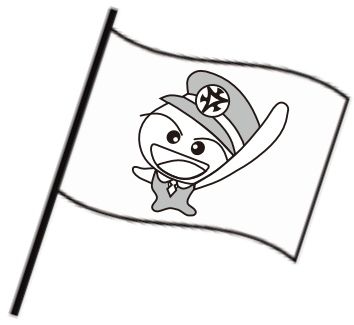
京交

京都交通労働組合
電話(075)841－0948
発行者 瀬戸高志
編集者 佐田　悟

・・一・二面・・
・都市交第77回定期大会

・・三　面・・
・第六回連合近畿ブロックユースラリー
・今月の言葉
・壬生の今
・各種委員会レジメ

・・四　面・・
・京交エンパワメントプラン自整支部・本局支部
・クロスワードパズル
・明石市営バスに乗車して



都市交 役員体制

役職名	氏名	出身単組
中央執行委員長	髙木敏雄	関西地本　大阪
中央副執行委員長（会計兼任）	浅野喜久夫	関西地本　名古屋
中央副執行委員長	林崎勝之	関東地本　横浜
書記長	吉田昭二	関東地本　東京
書記次長	栗原勝	関東地本　東京
会計監査委員	角田晃教	東北・北海道地本 函館
会計監査委員	佐田悟	関西地本　京都
会計監査委員	山中三男	中国・九州地本 佐世保

都市交第77回定期大会議事日程

第１日　（７月６日）

開会挨拶

中央執行委員長挨拶

資格審査報告

議長団選出、大会役員・書記長・書記任命

議案第４号「選挙管理委員会委員の選出」提案

来賓挨拶・祝電披露、大会運営報告

一般活動報告並びに議案第１号
「2010 年度主な取り組みの総括」提案

役員選挙告示

～休　会～

第２日　（７月７日）

来賓挨拶・祝電披露、資格審査報告、大会運営報告
一般活動報告並びに議案第１号
「2010 年度主な取り組みの総括」質疑・討論
2010 年度会計報告並びに同監査報告
機関紙コンクール表彰
議案第２号「2011 ～ 2012 年度運動方針」提案
～昼食・休憩～
議案第２号「2011 ～ 2012 年度運動方針」質疑・討論
議案第３号「2011 年度予算」提案、質疑・討論
議案第５号「規約の改正」提案、質疑・討論
議案第６、７、８号
「資金運用の承認」「予算の追加、更正、決算の中央委員会への委任」「会計監査人の委嘱」提案、質疑・討論
役員選挙
議案第９号「顧問の委嘱」提案
特別決議
大会スローガン・大会宣言採択
新旧役員挨拶
大会役員・書記長・書記解任、議長団退任
閉会挨拶

～都市交 第七十七回 定期大会に参加して～
・・教宣部員それぞれの思い・・

二〇一一年七月六～七日の二日間、スイスホテル大阪に於いて、都市交第七十七回定期大会が開催されました。各界から著名な方々が参加し、都市交の大きさを物語るものでした。さて、都市交定期大会に参加した中で、一番多く出てきた言葉は、今年の三月に起こった東日本大震災関連の話でした。まず、東日本大震災で被害に遭われた方及び現在も被災されている方に対して黙祷を行い、続いて東日本大震災発生にかかる公営交通の対応について話がありました。東日本大震災時の公営交通は、他の交通機関が全く動かないときも夜を徹して動き続けたそうです。これこそが公営交通の重要な存在意義のひとつです。民間交通会社はインフラとして交通手段になりえますが、基本が利潤の追求を目的としているため、利益にならない事態に関しては動かない可能性があります。一方で、公営交通は市民の足を守ることが目的であるため、不測の事態が起こっても全力で動き続けます。不測の事態というものは、いつ起きるかわかりませんし、今後も起こる可能性があるものですが、その際にも公営交通は先頭をきって市民の足を守り、帰宅困難者等が出ないようにしなければなりません。このような目的が違う交通機関が並存することで多様な現象に備えることができるのであり、公営交通に於いては、今後も重要な位置を占めていかなければならないと思います。

本局支部　山野　順大

都市交第七十七回定期大会が大阪の地に於いて盛大に開催されました。私は今回が初めての参加でしたが、全国から都市交組合役員の方々が想像以上集結し、ただただ圧倒されるばかりでした。まず始めに阿部中央執行委員長より三月十一日に発生した東日本大震災によって都市交の組合員の中からも犠牲者、行方不明者が出たことを報告され、大震災によるすべての犠牲者に黙とうをもって哀悼の意を表し、一日も早い復旧・復興を祈念しました。今大会のスローガン「強固な団結で激動の波を乗り越え、新たな都市交運動の創造を」のもと、被災した仙台、八戸、青森の各交通労組、また連合の災害ボランティアにも取り組み団結して難局を乗り越えていくことを確認しました。「偉大な国家が滅びるのは決して外的要因ではない、それはそこに住む人の心だ。そしてそれらの反映である社会の風潮によって滅びるのである」連合の古賀会長が歴史家の言葉を引用し挨拶で述べられた文言です。今まさに東北では復旧・復興に向けた人と人との繋がり、そういったものの大切さが再認識されています。大会の翌日は明石交通のバスに試乗体験してきました。明石交通は今年度末を持って民間移譲、廃止になります。これを他人事とせず全組合員で団結して健全化団体という壁を乗り越えていくことが京交、さらには都市交のさらなる繁栄に繋がるのではないかと感じ、拝聴しておりました。今大会では青年女性委員会でお世話になった他都市の役員の方々と再会でき、思い出話や近況などを語らい貴重な意見交換をさせていただきました。また私が役員になってから京交でこういった場に出席するのは初めてだったので、さらなる懇親を深めれたと思っております。至らぬところ多々あると思いますが向こう二年間精一杯頑張っていきます。

自整支部　中島健太郎

今回初めて参加させて頂きました。初日は来賓の方の挨拶が続き、議案は二〇一〇年度の活動報告だけで終了しました。明けて二日目。来賓の挨拶で始まり、続いて議案に入る前に仙台市交の方から震災後の都市交各単組の援助活動に対してお礼が述べられました。会場から大きな拍手が起こり、ものすごい一体感を感じました。次に機関紙コンクールの表彰式があり、我が「京交」が入選し、大変嬉しく思いました。賞状を受け取る伴野電車部長の照れくさそうな顔が印象的でした。続いて議案第二号に対する質疑応答があり、福岡交通の代議員さんを皮切りに次々と各単組の現状報告及び、本部への要望・質問等が発言されました。それぞれの代議員さんの発言には大変熱い想いが込められており、会場内は一気にヒートアップし、異様な熱気に包まれました。その後は割りと淡々と議事が進行し、最後に団結ガンバローで締めくくり、大会は無事に幕を閉じました。「都市交」という全国の仲間が一堂に会する集会に参加して、貴重な経験をさせて頂き、仲間が集い繋がって行くことの難しさを感じました。

駅務支部　平岡　英機

七月六日から七日の二日間に亘って行われた第七十七回都市交定期大会に今回初めて参加させて頂きました。全国各地から参集の都市交組合員と大阪難波のスイスホテルで出会い、盛大な大会にただただ度肝を抜かれてしまいました。現在全国の公営交通がどのような現状におかれているのか、そして、今後生き残る為にどのように社会に働きかけていくのかという熱い議論が長時間に渡って行われ、改めて全国の公営交通の非常に厳しい現状を知り、我が京都市交通局の今後のあり方を考えずにはいれませんでした。今回の参加者の中には東日本大震災の被災者の方も多数参加されており、仙台交通の被害状況や当時の様子など心中察するに余ある貴重な生のお話を聞かせて頂き、心より早期の復興を祈らずにはいれませんでした。今回の大会参加の経験を生かして今後も京交の更なる繁栄の為、日夜邁進して行きたいと思います。

駅務支部　今田　賢吾

七月六日・七日の二日間、スイスホテル南海大阪に於いて都市交第七十七回定期大会が開催されました。一番印象に残っているのは、来年三月で事業の廃止となる明石市交通局が「今回の都市交大会で参加は最後となります。今までありがとうございました。」と挨拶された事でした。京都においては財政支援団体の指定を受けているところですが、他都市では、事業の廃止にまで話が進んでいる事に何とも言えない気持ちになりました。各単組からの質問が多かった自治労との統合問題では「本部一任のもと円滑に進めていきます。」との回答を頂きましたので、公営交通を取り巻く状況が良くなっていく様期待しています。仙台市交通局からは、震災後いち早く「市民の足」を普及させた苦労話と、援助に対する感謝の弁が述べられました。地下鉄には一部不通区間もあるそうですが、早期に全面復旧する日がきて欲しいと思います。最後に、二日間多くの方の講義を聴けて貴重な経験ができました。職場においても参考になる事は取り入れていきたいと思います。

東西線乗務支部　堂下直也

スイスホテル南海大阪で開催された都市交第七十七回定期大会は、午後二時に開始され全国の公営交通の方が集まり盛大に行われました。傍聴席は人が溢れ、椅子を追加しないと座れないほど人がいました。私は初めての大会参加とあって規模の大きさと人の多さに圧倒されました。開会し、大勢の方の来賓の挨拶があり、それぞれの方が、公営交通の在り方や発展、今後どうなって欲しいかを大変熱く語られました。その中で、来賓として挨拶に立った古賀連合会長の「連帯、公正、規律、育成、包摂、働くことを軸とする安心社会」が、とても印象的でした。また、隣の都市とはいえ、大阪市長選挙が公営交通に与える影響が大きいということを聞いて、微力ながら力になろうと思いました。二日間を通して京交の仲間とは勿論のこと、全国の単組の方とも交流を図ることができ、貴重な体験をさせて頂きました。

梅津支部　梅田　涼

十四時から盛大に開催された大会は、大会委員長の挨拶が始まると気が引き締まる思いで傍聴させていただきました。今回が二回目の参加なので雰囲気は分かっているつもりでしたが、全国からたくさんの仲間と来賓の方を目の当たりにすると何故かかしこまってしまいました。ただ、前回大会よりは若干出席者が少なく、都市交を取り巻く状況が非常に厳しいということを再認識しました。さらに、来年度より民間移譲が決定している都市もあることから、重々しい空気も漂っているようにも感じ取れましたが、京都は未来に繋がる愛される公営企業を目指し、維持存続に向け日々努力していかなければならないという思いで、緊張感・緊迫感をもって傍聴しました。また、折角の機会なので、大阪市交通局の市バスにも乗車し、車内の状況や運転士の様子など見学しました。特に変ったこともありませんでしたが、意外とバス停スペースを広く設置しており広告も見やすくなっていた点が印象に残っています。これからも機会を見つけて他都市のバス車両及びバス停の設置状況など視察し、京都のバス事業にも役立てていきたいと思います。

九条支部　北川　博

第六回 連合近畿ブロック ユースラリー

青年女性委員会

二〇一一年七月十七日（日）から十九日（火）の三日間、連合近畿ブロック第六回ユースラリーが京都府立ゼミナールハウスに於いて開催されました。参加者は近畿二府四県から一五〇名が集まり、京交からは三名が参加しました。開会に先立ちユースラリー実行委員長の連合京都大西英樹青年委員長が、「伝統文化と自然環境の中で、人の文化・自然との共生・エコライフ・天災などについて、体験を通じて考え、身体と心で体感し、それを皆で共有し、明日の日本を展望し、東北へ、そして全国へメッセージを発信しましょう。」と挨拶に立ちました。その後、各班に分かれて自己紹介を行い、ウォークラリーでグループの結束を高めました。夕食のウェルカムパーティーではウォークラリー順位発表や、ウォークラリーで制作した旗紹介、じゃんけんゲームによる義援金カンパ、二日目の体験学習選択権争奪の連想ゲームなど、盛り沢山のイベントが開催されました。二日目は体験学習が行われ、ゼミナールハウスから車で三〇分の原生林でもある杉山見学と手作り体験として木工工芸・竹細工・杉の華染めをそれぞれの班に分かれて体験しました。台風前の雨にもかかわらず杉山見学の際、山の中では生い茂る木々が雨を防いでくれ、これからも長く生き続けている杉を守らなければならないことを学習しました。木工工芸では北山杉を贅沢に使って、モバイルフォンホルダーなどを作製、竹細工ではトンボの弥次郎兵衛をバランス取りながら作製、杉の華染めをそれぞれの班に分かれて体験しました。台風前の雨にもかかわらず杉山見学の際、山の中では生い茂る木々が雨を防いでくれ、これからも長く生き続けている杉を守らなければならないことを学習しました。木工工芸では北山杉を贅沢に使って、モバイルフォンホルダーなどを作製、竹細工ではトンボの弥次郎兵衛をバランス取りながら作製、杉の華染めではスカーフに淡い黄色やピンクの色を染めきれいに出来上がっていました。

班で旗の製作

旗の紹介

ナイトイベントは、雨で野外会場が使用できなくなり、急遽室内で行ったにもかかわらず、早食い早飲み競争や○× 知力クイズで大盛り上がりした後、最後に思い出イベントとして灯明を照らしここにいる仲間と東北にいる仲間が元気になるよう、また生きていることの大切さ、意味を深く考えていくよう祈りました。

三日目の最終日は、各班に分かれて寸劇でユースラリーのまとめを発表し締め括りました。

…ユースラリーに参加して…

第六回連合近畿ユースラリーに参加させて頂きました。毎回様々なテーマに沿って行われておりますが、今回のテーマは、「伝統文化と自然とのふれあい」でした。まずは各グループに分かれてのウォークラリー。その日初めて会った人たちと一致団結し、力を合わせ、様々な課題をクリアしていくことで仲間意識が芽生え改めて結束し協力しあうことの大切さを学びました。二日目は開催地である京北町の杉山に登り、樹齢何百年という雄大な杉を間近に見ることができました。と同時に衰退していく林業の取り巻く厳しい現状を知ることとなりました。最終日は、今回のユースラリーで学んだこと、感じたことをグループ毎にスタンツという形で発表し、参加者全員でシェアすることができました。この三日間を通して、色々な職種、様々な世代の仲間たちと知り合い、同じ体験をするなかで充実した時間を過ごすことができました。日々の生活の中で見過ごしてしまいがちな人との繋がり、協力しあうことの大切さ、喜び、今回のユースラリーで得たこの貴重な経験を、これからの人生に少しでも役立てていきたいと思います。参加させていただいたことを感謝しております。ありがとうございました。

まとめ集会後集合写真

杉山見学

青年女性委員　仁賀　康文

始まりは、ちょうど一ヶ月前大西青年女性委員長からの一通のメールでした。それは、京交を代表して三年に一度開催される連合京都のユースラリーに参加してほしいという旨の内容でした。今まで他の産別の人との交流もしたことなく不安で仕方ありませんでしたが、二泊三日のユースラリーを終了したとき、達成感でいっぱいでした。なぜなら、このユースラリーを通して、団結して助け合えばやってやれないことはないと痛感しましたし、日々の仕事の中では経験できない位たくさんの人と交流が図れたからです。また、他の単組の方々の仕事内容、仕事の悩み、待遇等を色々聞くことができ勉強になりました。ありがとうございました。

青年女性委員　林　勝之

壬生の今

正面のバス停から撮影しました。庁舎棟４階までもう少しです。

今月の言葉

小利を顧みるは則ち大利の残なり

目先の利益につられると大きな利益を失ってしまう、という意味である。当然と言えば当然のことだが、『韓非子』はつぎのような例をあげている。

むかし、晋という強国が虢という国を滅ぼしたときのこと、虢を攻めるには虞の領内を通らなければならない。そこで駿馬と玉を贈って道を貸してくれるように頼んだ。虞の重臣たちは、「虢が滅ぼされたら、次は虞の番ですぞ」と言って反対したが、虞の王様は贈物に眼がくらんで、晋の要求を受け入れる。

その結果、虢が滅ぼされて間もなく、虞も晋の侵攻を受けて滅ぼされてしまった。

虞の王様の愚かさを笑うのはやさしいが、いざその立場に自分がおかれると、同じような過ちを犯してしまう。それが人間の弱さなのかもしれない。そうならないためには、つぎのことに留意する必要があろう。

一、大局的な判断を見失わないこと

一、常に目標管理を怠らないこと

各種委員会レジメ

2011.7.12
壬生操車場会議室

第23回 執行委員会

報　告　事　項

1．都市交関係
　(1)　第77回都市交定期大会について　（別紙）
　(2)　災害救援ボランティアについて　（別紙）
2．対局関係
　(1)　お客様獲得戦略会議について　（別紙）
　(2)　祇園祭における市バス・地下鉄のお客様サービスについて　（別紙）
　(3)　管理の受委託の検討部会について　（別紙）
　(4)　七夕バスの運行について　（別紙）
3．本部関係
　(1)　組織対策委員会について　（別紙）
4．その他
　(1)　京都労福協卓球大会について　（別紙）

議　案　事　項

1．自整支部エンパワメントプランについて　（別紙）
2．その他

2011.7.26
壬生操車場会議室

第24回 執行委員会

報　告　事　項

1．８月日程について　（別紙）
2．都市交関係
　(1)　「脱原発を実現し、……」署名活動について　（別紙）
3．対局関係
　(1)「eco（エコ）サマー」の実施について　（別紙）
　(2)　映画「忍たま乱太郎」スタンプラリーについて　（別紙）
　(3)「ミシガンクルーズキャンペーン」について　（別紙）
　(4)　再雇用等意向調査について　（別紙）
4．平和フォーラム関係
　(1)　原水禁世界大会への参加並びにカンパについて　（別紙）

議　案　事　項

1．烏丸線乗務支部エンパワメントプランについて　（別紙）
2．東西線乗務支部エンパワメントプランについて　（別紙）
3．駅務支部エンパワメントプランについて　（別紙）
4．その他

2011.7.27
壬生操車場会議室

第６回 政策担当者会議

《中央委員会（書記長会議）》

報　告　事　項

1．８月日程について　（別紙）
2．都市交関係
　(1)　「脱原発を実現し、……」署名活動について　（別紙）
3．対局関係
　(1)「eco（エコ）サマー」の実施について　（別紙）
　(2)　映画「忍たま乱太郎」スタンプラリーについて　（別紙）
　(3)「ミシガンクルーズキャンペーン」について　（別紙）
　(4)　再雇用等意向調査について　（別紙）
4．平和フォーラム関係
　(1)　原水禁世界大会への参加並びにカンパについて　（別紙）
5．その他
　(1)　烏丸線乗務支部エンパワメントプランについて　（別紙）
　(2)　東西線乗務支部エンパワメントプランについて　（別紙）
　(3)　駅務支部エンパワメントプランについて　（別紙）
　(4)　その他

京交エンパワメントプラン

本局支部

～浴衣姿で市バス・地下鉄をご案内～

暦と絶好の天候に恵まれた平成二十三年七月十五日（金）の業務終了後、京交エンパワメントプランにおける本局支部活動である「祇園祭　浴衣で〝はんなり〟おもてなし」に取り組みました。この活動は本局支部において、ここ数年行っている活動であり、京都駅及び烏丸御池駅にて、普段にはない装いである浴衣姿で、お客様への案内活動及び感謝表明を行うものです。例年、宵山の日にこの活動を行っていますが、通勤帰りの方と他府県及び外国からの観光客の方との混雑を緩和する意味合いで、今年は宵山である土曜日ではなく、その次に混雑が予想される宵々山である金曜日に活動を行いました。

京都駅で最高の笑顔でおもてなし

当日は、総勢三十九名という過去最多の動員により、今まで以上にきめ細やかなお客様へのおもてなしを行うことができました。また、普段とは違う装いが目を引くためなのか、足を止めてこの活動に興味を持ってお尋ねになる方がいらっしゃいました。今回参加していただいた組合員の皆様の御協力はもちろんのこと、当日の配置箇所である京都駅及び烏丸御池駅の職員の皆様、その他大勢の皆様の御協力があってはじめて、このエンパワメントプランが成立するものです。今後も活動を継続していくことにより、エンパワメントの文字どおり、組合としての能力や実力をつけていきたいと思います。

浴衣姿で全員集合

自整支部

～オイル缶の再利用で子どもたちのハートをキャッチ～

四ヶ月の期間をかけてオイル缶で作成した特製多目的箱を六月三日（金）深草幼稚園、六月十五日（水）西院幼稚園にそれぞれ持参して贈呈してきました。前回の取り組みでも各方面から好評をいただきましたが、今回も園長先生ほか、先生、子供たちから大切に使わせて頂きますと大変喜んでいただきました。また、西院幼稚園の園児の中に市バスが大好きな子どもさんがおり、市バス車両と同じラインの塗装した缶に大喜びしていたと聞いています。（これは作成するのに大変でした（*_*）。合計八〇個を両園に贈呈しましたが、園長先生からは、「他の幼稚園にも配布して宣伝しておきます。」と御礼の挨拶があり、今回のエンパワメント活動は無事終了しました。

園児とともに記念撮影

後日、西院幼稚園の園長先生から連絡が入り、他の保育園・幼稚園から依頼がたくさんあるとのことでしたが、現在、生産になかなか手が回らない状態で次回まで待っていただくことになっています。将来のお客様になる子どもたちのハートをキャッチするため、直接お客様と接することの少ない職場ですが、「安全・安心」の根本を支える縁の下の力持ち的存在で頑張り続けます。

子どもたちに直接手渡しました

市バス特製缶

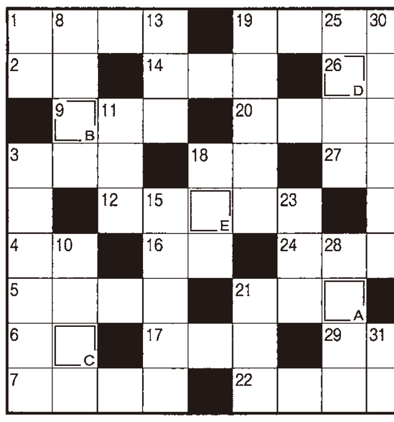
脳を鍛える　超難解クロスワードパズル

「クロスワードパズル」のコーナーです。ちょっと一息！頭の体操してみませんか？AからEまでの五文字を順に並べて一つの言葉にしてください。正解者の中から抽選で三人の方に「全国百貨店共通商品券」千円分をプレゼントします。どしどし応募してください。

このクロスワードが解けた方は、支部名、コード番号、名前、機関紙に対するご意見ご要望等を記入の上、京交本部教宣部機関紙編集チームまでお送りください。

締め切りは八月二十六日（金）必着です。なお当選者の発表は次号以降の機関紙「京交」で！

頑張って挑戦しよう！



〈ヨコのカギ〉

1 トルコの南方、地中海に浮かぶ島にあるEU加盟国。首都はニコシア
2 ソウビともいう花
3 これが脆弱だと、建築物は崩れてしまいそう
4 ――三寸の囀りに五尺の身を破る
5 白居易の詩「長恨歌」は彼女を主人公にしている
6 系図のことをこうも呼ぶ。――書き
7 よい匂いと悪い臭い。善人と悪人、君子と小人が同じ場所にいられないことを「――器を同じゅうせず」という
9 あやしくて疑わしいこと。――顔
12 オキアミなどのプランクトンや、小魚などを、海水ごと飲み込み、こしとってエサにしている
14 ニュージーランドの国鳥
16 三味線に使うものと、太鼓に使うものでは、読みが同じだが漢字は違う
17 ポジとも呼ばれる
18 一九九〇年まで西ドイツの首都だった
19 衆議院議員の通称
20 江戸三座の一つ
21 妻の父親
22 接吻のこと
24 高所から見下ろすこと
26 東西南北、前後左右。転じて周り全部
27 養蚕で重要になる樹木
29 ――の前の塵　柳に――

〈タテのカギ〉

1 ――戦　――民族
3 一九七一年八月、ニクソンが公表したドル防衛策が、固定相場制から変動相場制への移行をもたらし、この言葉を生みだした
8 一九一二年に創刊されたソ連共産党中央委員会の機関紙
10 イカやタコの身に多く含まれる物質。肝臓や胆汁にも豊富に含まれる
11 国会議員に支給される一年分の手当
13 ――ダイビング　――シップ
15 第三者があれこれと勝手にする噂や批評
18 硯の水をためる部分。硯の海
19 八月十六日の夜、京都の五山送り火で見られる――の火
21 宮中で行われてきた合奏音楽
23 ダイコンの漢名
25 太公望が残しておく？
28 アルメニアやグルジアは――山脈の南方にある
30 「新選組始末記」の作者。「勝海舟」はNHK大河ドラマの原作にもなった
31 従量――　揮発油――

クロスワードパズル 京交603号解答

■答えは「キドアイラク」

ジ	ゴ	■	イ	チ	ヤ	■	ワ	ラ
ヤ	サ	カ	ニ	ノ	マ	ガ	タ	マ
ン	■	ブ	シ	■	ブ	ン	■	ル
ボ	ル	シ	エ	ビ	キ	■	コ	ク
■	ツ	キ	■	ゼ	■	ド	マ	■
イ	ボ	■	コ	ン	ゴ	ウ	セ	キ
オ	■	マ	ド	■	シ	ケ	■	ヤ
ニ	ジ	ユ	ウ	ハ	ツ	シ	ユ	ク
ア	キ	■	グ	ス	ク	■	ダ	マ

当選者氏名（敬称略）

全国百貨店共通商品券

前田　誠（烏丸線乗務支部）
矢澤　均（西賀茂支部）
竹井　伸治（電整支部）

＝ナンプレ＝ 京交603号解答

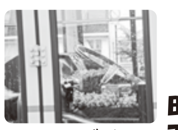
7	2	8	6	9	4	1	5	3
4	9	1	8	5	3	2	7	6
6	3	5	2	7	1	4	8	9
1	8	4	5	3	2	6	9	7
9	6	7	1	4	8	3	2	5
3	5	2	7	6	9	8	1	4
8	7	3	9	2	6	5	4	1
2	4	9	3	1	5	7	6	8
5	1	6	4	8	7	9	3	2

当選者氏名（敬称略）

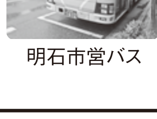
クオカード

田中　英次（梅津支部）
杉山　裕久（自整支部）

おまけ　…明石市営バスに乗車して…

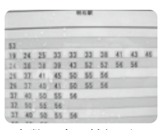

シフトノブが…

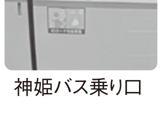
都市交大会に参加した自動車部は、七月七日（木）の二日目を活用して関西地本の仲間で今年度末に廃止が決まっている明石市に赴き、市営バスの乗車体験をしてきました。乗車したのは一〇時三〇分明石駅発、がんセンター行き「一六一二号」でした。率直な感想は、声かけは殆どなく、降車時になんとか感謝表明はしてもらえたという程度です。明石市営バスではスルッと関西が使えないらしく、提示した時に「それ、使えません」と割と冷ややかな対応でした。ただ前評判ほど印象は悪くなく、度を越した運転、車の改造は確認できず、車内はきれいに保たれていました。おそらく一部の人の行き過ぎた行動が全体のイメージを悪くし私の持っていた前評判を生み、風評被害を内部から作り出してしまう状況があったのではないかと思い残念に感じました。また、我々は比較のためにこちらは神姫バスにも乗車しましたが、こちらはバスの音声案内が充実しており「動きます」「揺れます」「ありがとうございました」等ほとんど音声案内が活躍して運転士さんの声かけはありませんでした。明石交通は来年廃止が決定していますが、一部ではなく組織全体で「どうすればお客様に安心・安全を提供できるか」をもう少し考えていれば違った結果もあったのではないでしょうか？　京交にも問われている事ではないかと実感しました。


明石市営バス

教宣部　中島健太郎

JR明石駅にはバス乗り場が北側、南側に二か所あり、それぞれ、降り場、乗り場に分かれていました。西側から順番に、神姫バス、明石交通の乗り場となっており、早速、市立病院方面の明石交通のバスに乗車することにしました。乗り場では大学生の長い列ができており、神姫バスは大変込み合っていましたが、明石交通は十名程が待っておられただけで比較的空いていました。運転士はマイクを付けていましたが、動き出す時の案内や声掛けは残念ながらありませんでした。運転操作は可もなく不可もなくといったところで、特に問題はありませんでした。運賃は均一で二〇〇円と表示があり、敬老証は使えません。と、張り紙が車内にありました。カードもICもなくスルット関西も使えませんでしたが、車内にはドライブレコーダーが備え付けてありました。降車時に感謝表明はありましたが、一人ずつというより、流れ作業的な印象を受けました。感想としては、そのような目で見ているせいかも知れませんが、やる気の無さを感じました。バスを待っている方に聞くと、この春から急に本数も減り不便になったそうです。帰りは、比較の為に神姫バスに乗車することにしました。バスを待っている間に時刻表を見て驚きました。何とラッシュ時の本数がとても多く、同発も三本あるなど、とにかく本数がたくさんあったからです。そして運転士は着帽しており、お客さんもシート満員で少し活気を感じました。運転士の姿勢も良く全体に丁寧さを感じました。しかし、盛んにマイクを活用するわけではなく、車内放送が発車時の注意や停留所説明、両替方法などを詳しく流していました。明石交通に比べると良く見えますが、特に凄いとは思いませんでした。むしろ京都の方が良いと思いました。どのような経緯で廃止になったか、詳しいことはわかりませんが、それほど神姫バスが素晴らしいとは思いませんでしたので、しっかり接客やお客様サービスに取り組んでいれば生き残れた気がしたので大変もったいなく感じました。


本数の多い神姫バス



神姫バス乗り口

教宣部　梅田　涼